

事業計画書

事業名	手作りおもちゃカフェ事業
団体名	子育て＋プラスゆとりにつこり

事業概要
松戸市内子育て支援団体等と協働して、高齢者がこれまでに培ってきた得意の裁縫や工作スキルを発揮しながらオリジナリティ豊かな手作りおもちゃを提案し、子どもと一緒に制作することで既成商品にない創作過程の面白さや多世代交流の楽しさを体験します。

取り組もうとする松戸市のテーマ（課題）	1. 子どもの孤立化：核家族の増加、共働きやひとり親などに伴う子どもの孤立化に対して、団体間連携による多様な支援体制により予防する必要があります。 2. 高齢者の増加：高齢者が躊躇し、社会参加が少ない状況に対し、そのゆとり時間を子どもや子育て支援に役立て地域でいきいきと生活してほしい。						
事業の目的	1. 「子どもの孤立化」を防止するために、子育て支援団体と協働しながら、手づくりおもちゃと一緒に制作し多世代交流の楽しさを体験します。 2. 一般の高齢者がこれまでに培った特技や経験を発揮して、楽しみながら子育て支援に参加することを目指します。						
事業内容	1. 事業内容 手作りおもちゃカフェの開催 (1)子どもの孤立化を防ぐため多世代交流のイベントを月 1 回実施します。 (2)また、他団体のイベント等に出張して協働する事で、自団体の通常のイベントでは手の行き届かない子どもに対しても、アプローチします。 会場：(1)新松戸市民活動支援コーナー(2)市内子どもの居場所やイベント会場 対象：子ども 内容：布製おもちゃ（裁縫）・段ボール製おもちゃ（工作）による制作体験 なお、他団体の催しへの出展については、協働する市民活動団体等が企画・運営するイベントや子どもの居場所に当団体「ゆとりにこ（略称）」が出向き、以下のとおり実施します。 ・多世代交流型居場所等への参加で家庭的な雰囲気の中で交流しながら、子どもを慈しむ想いを込めて作品と一緒に制作します。 ・使用する材料（布、段ボール、針や工具など）の安全性に配慮して、ボランティアメンバーによるサポート体制を整えます。 ・丁寧に子どもと関り一緒に制作したおもちゃで遊び楽しみます。その後は作品を自宅に持ち帰り引き続き遊べるようにします。 ・イベント終了後、参加団体を対象にアンケートを行い効果検証します。 ・高齢者の参加を募るため、チラシを配架するほか、他団体の高齢者等を講師に招き試作品を検討することで横の繋がりを広めます。 2. スケジュール <table><tr><th>実施月</th><th>具体的な取り組み</th><th>①実施体制 ②対象 ③場所等</th></tr><tr><td>6.8.10.3月を除く毎月第3日曜日11時～14時</td><td>(1)手作りおもちゃカフェの開催（8回） ・多世代交流型の居場所として手作り品と一緒に作成</td><td>① 会員 ② 子ども、高齢者 ③ 新松戸市民活動支援コーナーなど</td></tr></table>	実施月	具体的な取り組み	①実施体制 ②対象 ③場所等	6.8.10.3月を除く毎月第3日曜日11時～14時	(1)手作りおもちゃカフェの開催（8回） ・多世代交流型の居場所として手作り品と一緒に作成	① 会員 ② 子ども、高齢者 ③ 新松戸市民活動支援コーナーなど
実施月	具体的な取り組み	①実施体制 ②対象 ③場所等					
6.8.10.3月を除く毎月第3日曜日11時～14時	(1)手作りおもちゃカフェの開催（8回） ・多世代交流型の居場所として手作り品と一緒に作成	① 会員 ② 子ども、高齢者 ③ 新松戸市民活動支援コーナーなど					

	5・7・9月	(2)出張おもちゃカフェの試作品検討、制作 ・手芸や工作活動している他団体の高齢者等を講師に招き試作品を検討する。 ・周知活動、消耗品の購入、材料の準備、資料作成	① 会員・協働団体スタッフ ② 高齢者 ③ 新松戸市民活動支援コーナーなど
	6・10・3月	(2)出張おもちゃカフェの開催(3回) ①協働団体との協議検討 ②広報活動(HP, チラシ、情報紙、資料作成等) ③他団体の企画、運営するイベントや子ども食堂に出向く。 ・オリジナルのおもちゃ制作体験(麻ひも人形、輪投げ等) コーナー設営 ・来場した子どもに寄り添い、一緒に資料や見本等を見ながら、丁寧に説明し制作する。	① 会員・協働団体スタッフ ② 子ども、高齢者 ③ 出張先団体(NPO 法人、市民団体、子ども食堂など)
	8月	(2)出張・おもちゃカフェ集中開催(3回/子どもの夏休み中に集中開催) ①②③同上	① 会員・協働団体スタッフ ② 子ども、高齢者 ③ 出張先団体(NPO 法人・子ども食堂など)
	3月	(2)出張・おもちゃカフェ実施評価 ・出張先団体の評価 ・協働団体の評価 ・広報活動の評価 ・手作りおもちゃの評価 ・出張アンケート調査、ヒアリング調査実施	① 会員・協働団体スタッフ ② 会員・出張先の協働団体 ③ 新松戸市民センター 市民活動支援コーナーなど
事業の目標	(1)開催回数：8回以上/年 (2)出張協働事業：協働団体2団体以上 (1)(2)子どもの参加者数：8名/回、高齢者の延べ参加者数：30名 (1)(2)高齢者による様々なオリジナルおもちゃ(裁縫、工作)の提案 (1)(2)子どもや高齢者の笑顔が見られる (2)アンケート調査及びヒアリング調査：満足度評価(平均)3以上/5段階		
今後の展望	・高齢者が寄り添い手作りするおもちゃの質を高め、子どもの創造性を培い満足度を向上できるようにします。 ・協働する市民活動団体を拡大し、高齢者による子育て支援活動の場を広めます。		

事業の予算概要

【収 入】

(単位：円)

科 目		金 額	積算内訳
団 体	団体拠出金	¥ 9,520	事業費の一部を団体より拠出
	参加費	¥ 33,600	おもちゃカフェ参加費 8人×300円×14回
	自己資金の合計額 (A)	¥ 43,120	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	
合計額 (C) = (A+B)		¥ 143,120	

【支 出】

科 目		予算額	積算内訳
助成金の 交付対象経費	消耗品費	¥ 73,000	・手芸・工作材料（布類、裁縫用具、塗料、工具、遊具、文具、色紙、はさみ、カッター、作業板など）、衛生材料、参考書籍 ・印刷用インク、上質紙 ・4,000円×17回 ・5,000円
	食糧費	¥ 25,500	・おもちゃカフェ参加者用お茶菓子 ・1,500円×17回
	印刷製本費	¥ 5,100	・おもちゃ作成パンフレット、チラシ ・5,100円（10円×30枚×17回）
	保険料	¥ 9,520	・イベント行事用保険料 ・28円×20人×17回
	報償費	¥ 9,000	・手づくり品の作成（外部）講師料 ・3,000円×3回
	対象経費の合計 (D)	¥ 122,120	
その他経費	通信運搬費	¥ 15,000	・団体ホームページプロバイター使用料 ・15,000円（年間）
	交通費	¥ 6,000	・出張交通費 ・500円×2人×6回
	その他経費の合計 (E)	¥ 21,000	
合計額 (F) = (D+E)		¥ 143,120	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が対象となる経費 (D) 欄の90%以内、自己資金 (A) 欄が対象経費 (D) 欄の10%以上であること。
- 2 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。